

展望2022



大成ロテック

西田 義則社長

2021年度に3力年の中期経営計画をスタートしたが、原油価格の高騰で工事、製品部門ともに苦戦を強いられている。顧客と粘り強く交渉を重ね、価格転嫁に理解い

道路舗装

業績回復へ正念場の年

ただけるよう努力していく。厳しい状況は続くが、人材育成や技術開発、生産性向上、働き方改革など持続的成長への取り組みは着実に進める。

先行きが不透明な中、22年度は中期経営計画の目標達成に向けた正念場の年になる。

本業では国土強靱化対策の関連工事などに注力する。地方工事の受注対策としてM&A（企業合併・買収）を強力に

進める。事業領域を拡大する

ため、工事部門では大成建設と連携した高速道路の維持更新や建築工事などに取り組み。海外事業はベトナムで再

生合材製造販売事業の早期開始を目指す。

脱炭素化の取り組みも加速する。二酸化炭素（CO₂）の排出が最も多い合材工場での燃料転換を行うなど地道な対策を継続していく。新規事業

として新潟県新発田市で中小水力発電に参入し、将来的には全国展開していきたい。発電舗装などカーボンニュートラルを見据えた研究開発にも力を入れる。現在の研究所が手狭なため、埼玉県幸手市に新たな研究施設を建設する。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は避けて通れない。専属組織を立ち上げ重点課題の洗い出しを行っている段階だ。現場のDXに注力し生産性向上と働き方改革を前進させていく。